



清流清く

学校だより第10号
令和5年1月31日(水)
関川村立関川中学校

防災意識を高め 見直す必要性～3学期始業式 講話より～

校長 櫻井 雅之

新年、そして新学期、関川中学校では大きな事故の報告がなく、こうして皆さんと顔を合わせられたことに喜びを感じています。本来であれば、明るく前向きな話でスタートしたかったのですが、今日この日に伝えなければならぬと感じた話をします。私を含め、まさか元日にと考えた人が多かったと思いますが、「令和6年能登半島地震」が発生しました。改めて、自然災害はいつどこで起きるかわからないということを再認識させられました。未だに(1月9日現在)全容は見てきませんが、この災害で亡くなられた人のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

私はその時、リビングでくつろいでいましたが、スマートフォンからの緊急地震速報が鳴り、間もなく地震の揺れが来ました。テレビでは津波警報の発令と避難指示が放送されたので、家の者にすぐに予定していた避難場所へ避難することを指示して、私は高齢家族を迎えに行き、避難場所まで合流後、関川中学校へ行きました。

人は、「正常性バイアス」という心理が働きがちで、私の中でも「津波なんか来ないだろう」という考えがよぎりました。しかし、このときのことを思い返してみると「家族の命を守る」意識が強く働いたので、すぐに避難行動を起こしました。結果的には津波はここまで到達せず、何事もなかったのですが、実際避難したことは今後の万一に備えてのよい教訓となり、防災意識の自身の見直しに繋がりました。

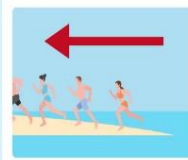
過去に新潟近辺で起きた津波被害を調べてみると、新潟地震(1964.6.16)では、地震発生から15分後に津波発生、佐渡や粟島で冠水被害が発生したこと、日本海中部地震(1983.5.26)では、秋田県の山本郡峰浜村で波高14mとなり、死者は104人うち100人が津波による犠牲者であることが分かりました。また、日本海側の津波は活断層が陸地に近く、地震後短時間で津波が押し寄せること、大陸に跳ね返り何度も押し寄せることも分かりました。(津波警報・注意報の解除が遅かったのもそのためでしょうか。)

皆さんには、自分の家の周囲を防災という観点から観察し、どんなリスクがあるか、そして、万一の時はどこに避難するかを改めて家族で話し合い共有してほしいのです。さらに、「自分の命は自分で守る」ことを最優先にして、自分の安全が確保できたら、関川村の一員として「周囲の人の命や安全を守る」ことをお願いします。

3学期がスタートしました。これまで同様、充実した学校生活にしていきたいと思います。

大きな揺れ、津波警報などですぐ避難！

海から離れる



- ・絶対に海を見に行かない
- ・津波警報などの発表時は戻らない

ただちに高い場所へ



- ・避難所ではなく避難場所へ
- ・日頃から避難場所の確認を

車は使わない



- ・渋滞に巻き込まれる懸念
- ・原則、徒歩で避難を

3学期のスタートです

1月9日（火）の始業式で、各学年の代表生徒が3学期の抱負を発表しました。

3学期頑張りたいこと

1年2組 池田 乃愛

私が3学期頑張りたいことは2つあります。

1つ目は勉強です。特に、数学の計算をすばやく正確に解けるようにたくさん練習をしたいです。また、自分の苦手な部分を見つけて、そこを細かく勉強して苦手を克服していきたいです。

2つ目は、提出物をしっかり毎日出すことです。私は、2学期は自学などを毎日出すことができませんでした。だから、3学期は毎日提出して、提出物をパーフェクトにしたいと思います。そのために、学校から帰ってすぐに自学などをしたいです。

3学期頑張ること

2年1組 須貝 叶琉

僕が3学期頑張りたいことは、3つあります。

1つ目は、新しく始まった新研究を毎日やってしっかりと提出することです。1・2年の時は、自学が全然できていなかったのので、3学期に自学や新研究などをすすめていきたいと思えます。

2つ目は、応援委員長になって委員長の仕事をしっかりこなしていきたいです。そして、挨拶運動をどんどん広めて地域の人にも挨拶をできるようにしていきたいなと思っています。

3つ目は、学習時間を伸ばすことです。1・2年生の時にはテスト期間以外はほぼやっていなかったのので、これからはもっと伸ばせるように頑張りたいです。

3年生が卒業すると、僕たちは最高学年になります。3学期を今年度のとまとめ次の学年のスタートを考え、自分から行動できるように最高学年という立場を意識して生活していきたいです。

3学期の抱負

3年1組 伊藤 翔空

関川中学校3年目の最後の3学期。私は、学校生活を充実させるために2つのことに力を入れて取り組みたいと考えています。

1つ目は、残りの学校生活を楽しく過ごすことです。卒業まで残り38日。3学期は今までの学期の中で一番短い学期です。私は1・2学期以上に楽しい思い出を残したいと考えています。そのために1日1日を大切に、充実した日々を送ってきたいです。

2つ目は、高校入試に向けて勉強を進めることです。絶対に志望校に合格するという強い気持ちをもって、日頃の授業に集中して取り組み、学力の定着を目指したいです。そして、3月6日の高校入試当日は、自分の持っている力を十分に発揮できるようにしたいです。

以上2つのことに力を入れ、卒業までの学校生活を大切にしながら、良い思い出を最高の仲間とともに過ごしていきたいと思えます。

1月のスナップ

1月16日（火） 渡邊邸から合格祈願の御札の寄贈

渡邊邸の屋根の上にある石は「一度も落ちたことがない」ことから縁起の良い合格石といわれています。その石を支えている屋根の木羽で作られた合格祈願の御札を、渡邊邸からいただきました。御札には1枚1枚手書きで「合格」の文字が書かれてあり、私立受験の前日に各学級で担任から生徒一人一人に手渡しました。渡邊邸の皆様、ありがとうございました。



1月26日（金） 生徒総会・引継ぎ会

今年度2回目の生徒総会は、各委員会や部活動の振り返りをみんなで確認しました。その後、新生徒会への引継ぎが行われました。そして、後輩から先輩へ、先輩から後輩へのメッセージ交換と3年生の思い出スライドショーを観ながら、楽しい時間を過ごしました。1年間関川中生徒会を引っ張ってきてくれた3年生のみなさん、ありがとうございました。そして、新生徒会の活躍を期待しています。



1月28日（日） 未来のチカラにいかた脱炭素プロジェクト円卓会議に参加

オープンスクールではたくさんの保護者の皆様からご来校いただき、ありがとうございました。この日、1年生は新潟日報メディアシップで、関川村の脱炭素に向けた取組を発表してきました。県内から5校の中学校が参加し、大勢の観客のなかで、これまで準備・練習してきた成果をしっかりと発揮し、堂々と発表してきました。

今回の会議の様子については、2月24日（土）の新潟日報に掲載されます。



<円卓会議 代表発表者の感想>

- 私は最初、炭素の意味すらよく分かりませんでした。脱炭素プロジェクトについて学ぶことで、再生可能エネルギーの多様さや村の取り組みについて知ることができました。未来ある関川、新潟、日本のために私たちも貢献していきたいです。（渡辺 伊知子）
- 私は今回の脱炭素プロジェクトを通して、世界や関川村の現状を知ることができました。日本がCO2排出量世界5位だということを初めて知り、とてもおどろきました。今回学んだことを今後に生かし、関川村に貢献していきたいです。（田村 色葉）
- 関川村に太陽光パネルが設置されているのは以前から知っていましたが、それが何のためなのかということを知ることができました。将来の関川村を担っていくのは私たちなので、私たちにできる小さなことから進んで取り組んでいきたいです。（高橋 玲那）

健闘の記録

数学検定	4級 津野 伶介 松田 暖大 山本 哩玖斗 田村 色葉 5級 伊藤 陽斗 伝 空海
卓球	新春卓球大会（1月3日） 中学生男子の部 第3位 石谷 鼓太郎
書道	せきかわ新春競書大会（1月20日） 関川村長賞：佐藤 萌加 関川村学校運営協議会長賞：池田 乃愛
ソフトテニス	市民インドアソフトテニス大会（1月14日） 第1位：石井 凜・佐藤 里帆 第2位：池田 乃愛・近 梨里菜

< 2月の主な予定 >

日（曜日）	予 定
1日（木）	全校朝会 3年生三者面談 セーブメディア強調週間（～9日）
5日（月）	新入生保護者説明会 預り金振替日 第5回 Web テスト週間
6日（火）	放課後学習会（～7日） スクールカウンセラー来校日
8日（木）	第4回定期テスト（～9日）
13日（月）	生徒会専門委員会
15日（木）	生徒朝会 新1年生保護者部活動見学可（～16日）
16日（金）	第2回PTA役員会 18:00～
19日（月）	プラスワンカルチャー 公立高等学校一般選拔出願（～21日）
20日（火）	小中連携人権教育講演会 13:30～15:00 ・講 師：蓮池 薫 様（新潟産業大学 特任教授） ・参加対象：関川小5・6年生、関川中全校生徒 ※保護者、地域の方の参観はありませんので、ご了承ください。
21日（水）	1・2年生単元別テスト
22日（木）	3年生祝卒業イベント（吹奏楽部演奏会、応援委員会激励応援）
26日（月）	プラスワンカルチャー 1・2年生卒業式練習
27日（火）	公立高等学校一般選抜志願変更（～29日）
29日（木）	学年朝会

